

令和8年度

危機的な状況にある

言語・方言サミット

(奄美大会)・喜界島

入場無料(申込不要)
どなたでも参加できます

令和8年

10月31日 土 10:00~17:40

11月1日 日 10:00~13:00

喜界町自然休養村管理センター
(鹿児島県大島郡喜界町大字湾字宮戸565-2)



アイヌ
語

八丈
方言

奄美
方言

国頭
方言

沖縄
方言

宮古
方言

八重山
方言

与那国
方言

被災地
方言

主催・共催／文化庁 鹿児島県 喜界町 喜界町教育委員会
大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所 国立大学法人琉球大学

趣

旨

日本には消滅の危機にある言語・方言がいくつもあります。アイヌ語、八丈方言、奄美方言、国頭方言、沖縄方言、宮古方言、八重山方言、与那国方言、そして、東日本大震災の被災地方言などです。「危機的な状況にある言語・方言サミット」は、これらの言語・方言の状況や地域の取組事例の紹介、聞き比べや講演などを通して、文化の多様性を支える言葉の役割や価値について共に考え、危機的な状況を改善するきっかけとします。

10月31日 土

10:00~17:40

11月1日 日

10:00~13:00

09:30 開場・受付
10:00 オープニングアトラクション
10:30 開会式
10:45 基調講演
(関西学院大学 今西祐介教授)
12:00 休憩
13:00 危機言語・方言の聞き比べ
(アイヌ、南部、八丈、新島、
奄美群島、沖縄各島)
14:10 休憩
14:25 危機言語・方言の表現披露1
(喜界方言:八月踊り、方言狂言)
15:30 ブース発表
17:40 終了

09:30 開場・受付
10:00 開会
10:05 危機方言の現況報告
(福岡教育大学 荻野千砂子教授)
10:35 アイヌ語の現況報告
(国立アイヌ民族博物館)
11:05 休憩
11:15 危機言語・方言による表現披露2
(沖永良部方言、石垣方言、
アイヌ語)
12:25 大会宣言・閉会式
13:00 終了
14:00 オプショナル企画
(済州語の現況報告、島唄披露)
15:30 終了

「世界の言語から見るシマユミタ（奄美語喜界島方言）：言語の普遍性と多様性」



基調講演講師

今西 祐介 関西学院大学総合政策学部国際政策学科教授

2014年マサチューセッツ工科大学（MIT）言語・哲学科博士課程修了。
Ph.D.(Linguistics)

専門は統語理論、形態論、フィールド言語学。

米国留学中にグアテマラ共和国においてカクチケル語（マヤ語族）に関するフィールド調査を行い、博士論文を執筆。これまでに国際学術誌、書籍（単著を含む）、国際学会等において、主にカクチケル語を含むマヤ諸語の研究を発表。2014年からは喜界島においてシマユミタ（奄美語喜界島方言）のフィールド調査を始め、言語理論の研究を行う。近年では、シマユミタの保全を目指して、共同研究を行いながら言語資料のデジタルアーカイブ化を進めている。

お問合せ 喜界町教育委員会生涯学習課 ☎0997-65-0229